

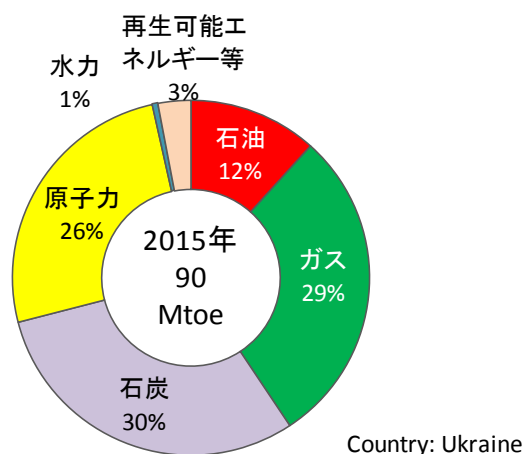
2-20 ウクライナ

1. サマリー

1. エネルギー事情

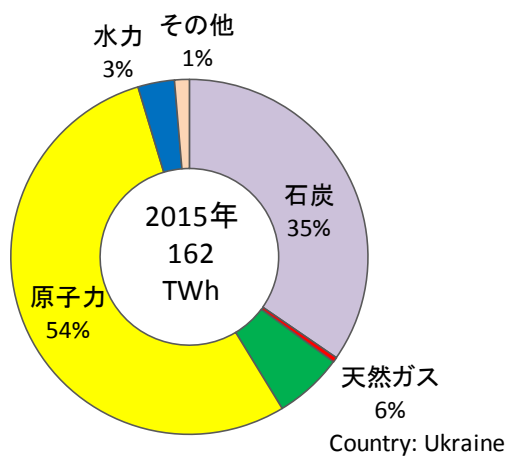
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 90 百万 toe (日本の 21%)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 2.00toe (日本の 59%)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 68%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 189.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 16.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 4.2CO₂ 換算 ton (日本の 46.7%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016年末) : 天然ガス 33.2年、石炭 500年以上

一次エネルギー供給構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー・石炭産業省がエネルギー政策全般を担当。環境・天然資源省は環境保護、天然資源の利用、原子力・放射能に関する安全性等を担当。農業政策省はバイオ燃料を担当する。

(2) 基本政策

- エネルギー自給率の向上（対ロシア原油・ガス輸入依存度の低減）が最大の課題。ウクライナ政府もエネルギー源の多様化、エネルギー供給源および供給ルートの多様化、省エネ、国内開発などの対策の必要性を認識。
- 2017年8月、ウクライナエネルギー・石炭省（MECI）は、「2035年までのエネルギー戦略『安全、省エネ、競争力』」を発表した。同戦略によると、2035年までに原子力、再生可能エネルギー、大規模水力の比率を拡大する一方、火力の比率を縮小させる方針。同年の発電量の内訳は、原子力50%、火力30.5%、再生可能エネルギー12.8%、大規模水力6.7%を見込む。また、ガス輸送インフラについて、同国から欧州へとより能動的に接続する必要性を指摘している。

(3) 最近の動向

- 2017年7月、EU理事会はEU-ウクライナ連合協定を採択した。今回の採択は、EUとウクライナが全ての主要政策分野における緊密かつ長期的な関係に全力で取り組むための、同協定の批准手続きの最後の段階である。決定採択により、2017年9月1日より同協定が完全に履行される。
- 2017年8月下旬、米国産一般炭がウクライナに初出荷された。同年12月までに合計70万tonが出荷され、ウクライナの年間一般炭輸入量の約14%が米国産で代替される見通し。ウクライナでは、主要産炭地である東部地域が親ロシア派武装勢力の支配下にあり、石炭供給途絶が深刻化するとともに、同国石炭輸入量の約7割を占めるロシアへの依存度低減が喫緊の課題となっている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2015年2月、日本・ウクライナ両政府は日・ウクライナ投資協定を署名。本協定により日本企業の投資活動の円滑化、二国間経済関係の強化に繋がることが期待される。
- 2015年6月、安倍首相が日本の首相として初めてウクライナを訪問し、Poroshenko大統領らと会談。同大統領からは、日本の、特に石炭火力発電技術の導入意欲が示された。
- 2016年12月、日ウクライナサイバー協議をKiyvにて開催。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Ukraine

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		90 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.00 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.74 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		68 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		189.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		4.20 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	30 %
	石油	12 %
	天然ガス	29 %
	原子力	26 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	3 %
(8) エネルギーの輸入依存度		32 %
(9) 石油の輸入依存度		75 %
(10) 輸入原油の中東依存度		NA %
(11) 天然ガスの輸入先 (2016年、欧州100%)	第1位	スロバキア経由 (82%)
	第2位	ハンガリー経由 (9%)
	第3位	ポーランド経由 (9%)

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(11) : NAFTOGAZ